

第一回

# 颯 に 舞 う

令和 8 年 5 月 10 日 (日)

開場 12:30 / 開演 13:00 予定

於 岡山後樂園 能舞台

入場料 一般 3,000円 (全席自由)

高校生以下 無料

会主 藤間裕美靖

お問い合わせ・お申込み

✉: [fujimayumiya@gmail.com](mailto:fujimayumiya@gmail.com)

☎: 07037730358





# 特別出演



藤間市寿美裕



光原大樹



岡崎陽大

義太夫

## 寿式三番叟

ことぶきしきせんばそう

岡崎陽大

能の「翁」という演目が大元で、とてもおめでたい内容から舞踊としても非常に人気のある曲です。  
揉ノ段（もみのだん）と鈴ノ段（すずのだん）の二つの構成になっており、特に後半は五穀豊穡を願って土を踏み鳴らす振りが多く出てきます。  
「三番叟は土から生まれた踊り」であると言われ、テンポの速い足拍子を強く踏む所作がこの三番叟の特徴であり、リズム感のある面白い所です。

地歌

## 八鳥

## 鳥

やしま

藤間裕美靖

能の「八鳥」を下敷きにした本行物の作品です。  
西国行脚の僧が讃岐の八鳥（屋鳥）で妄執に苦しむ源義経の亡霊に会い壇ノ浦の合戦の物語に可を傾けます。しかし夜が明けるとともにその姿は幻のように消え失せ、敵と思ったものは鳴であり、聞の声だと思ったものは風の音であった、という怪しくも物悲しさのある内容です。  
「静」と「動」を巧みに表現した地歌舞ならではの表現が魅力の一曲です。

地歌

## 鐘ヶ岬

かねがみさき

藤間市寿美裕

恋情を募らせる女は、叶わぬ恋に心を乱し、やがてその思いは激しい執念へと変わっていきます。嫉妬や恨みが次第に募り、静かな佇まいの内に秘められていた感情が次第にあらわになっていきます。  
同じ題材で知られる京鹿子娘道成寺が華やかな歌舞伎舞踊として描かれるのに対し、本作はより内面的で抑制のきいた表現により、女心の移ろいを情感豊かに映し出します。

地歌

## 珠取海人

たまとりあま

藤間裕美靖

藤原不比等が亡き父の宝物「面向不背（めんこうふはい）の玉」を龍神に奪われます。志度浦の海女と契ってできた子・房前を跡取りにすることを条件に海女は危険を承知して海に潜り龍宮で宝珠を奪い返します。追手に迫られる中、珠を守るため自らの乳房を裂いて隠し命と引き換えに地上へ届けるという物語です。  
わが子の未来のために、母の深い愛と覚悟、秘められた激しさが情感豊かに表現された地歌の名曲です。

この度、地唄舞をぜひにと多大なお力添えを頂きまして、自身初となります舞の会を開催する運びとなりました。題名の「颯に舞う（そうにまう）」には私の舞踊に対する「こうありがたい」という想いを込めました。一つ一つの所作に心を込めて表現し、芯のある舞踊家になりたいと思っています。

勅右衛門派藤間流師範  
公益社団法人日本舞踊協会所属  
藤裕会 副代表  
日韓伝統文化芸術交流協会 副代表  
韓日歌舞楽コンクール審査員賞受賞

幼少より日本舞踊を始め、母である藤間市寿美裕師に師事。古典作品を中心に研鑽を積む。日本舞踊の魅力を大切にしながら、新たな表現にも挑戦している。



会主：藤間裕美靖